

## 新たなプログラムへの期待

NPO法人 ezorock 代表理事 草野竹史  
同 プロジェクトコーディネーター 水谷あゆみ

当法人は、「HAKODATEコンシェルジュ養成プログラム」に引き続き、「国際地域イノベーター人材養成プログラム」においても重要な位置付けである「地域づくり支援実習」で、厚真町での実習指導を担当させていただいております。

厚真町での実習は、2週間の”長期滞在”プログラムです。この”長期”という視点が、地域に関わる際にはとても重要になります。滞在して数日経つと、そのまちの暮らしが徐々に見えてきます。朝のごみ出しはどのように行われているのか。農家さんのところに、どのような業者さんが出入りしているのか。滞在先の子どもたちはどんな学校に通い、放課後にどのような遊びをしているのか。長期滞在というのは、一時的にその地域の暮らしに身を置くことです。地域の課題というと、何か特別なことが起きているように捉えてしまいがちですが、実はごく普通の日常の暮らしの中に起きていることです。この暮らしという背景を理解して、はじめて地域で起きている課題を立体的に捉えていくことが大きな学びとなり、皆さんの次の一步の原動力へとつながります。

また、厚真町長期滞在プログラムには、“教育”というひとつの切り口から多様な考えや視点に触れられるという大きな特徴があります。ある日は、子どもたちに対して”ダメ”と教えていることが、次の日、違う現場に行くと”それはOK”と言われることがあります。学校現場の生の声を聴くこともあれば、休日の森の中で自由に遊ぶ場づくりをしている運営している人の

考えを聞くこともあります。子どもたちが学校で見せている顔と家族に見せている顔が違うことに気づくこともあります。たった2週間という短い期間で、教育の多様性をコンパクトに体感できるのです。

2週間のプログラムは、決して楽ではありませんが、地域の暮らしから多様な教育まで触れられることは間違いありません。地域の方とともに作り出す貴重な機会に、今後も多くの学生のみなさんに参加していただきたいと願っております。